

A photograph of a tree silhouette against a sunset sky, with a building and field in the foreground. The sun is low on the horizon, creating a bright glow behind the tree's branches. The sky transitions from a pale yellow near the sun to a deep blue at the top. In the foreground, there is a dark field of crops and a building with a distinctive tower-like structure.

# SINAP Journal

*Winter 2019*

## SINAP Social Good

### 復興支援プロジェクトとは

シナップでは、東日本大震災による津波で深刻な被害を受けた岩手県陸前高田市にある酒造メーカー「酔仙酒造株式会社」、おなじく震災で店舗を失った商店主が再スタートを誓って集まった「陸前高田未来商店街(2018年9月30日に仮設商店街の期限を迎え解散)」、そして岩手県大槌町の女性達が取り組む「大槌復興 刺し子プロジェクト」を、私たちの本業であるビジネスプランニング、Web・ITを活用したコミュニケーション作りを中心に支援しています。

震災当初は毎月スタッフが交代で現地へ赴き、地元の方々とお会いして、現場での課題や悩みを直接聞きながら、Webサイトの制作、運用はもちろん、時には無線LANの設定やクリスマスイルミネーションの敷設など、私たちにできる範囲ですが、様々な形でお手伝いをしてきました。

近年では、私たちが無償で制作のお手伝いをするのが地元の同業企業の売上げを奪うことにならないよう、運用などの日頃の業務については地元の制作会社に引き継ぎ、コミュニケーションプランニングなどの面で引き続きお手伝いをしています。

# 2011

2011年6月3日 撮影 (右写真とほぼ同じ場所より)  
震災による津波で深刻な被害を受けた当時の様子

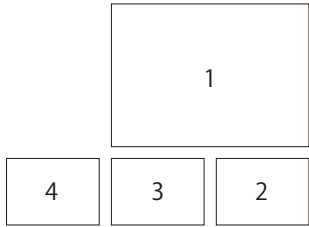
特集 続く思い。続ける力。

# シナップソーシャルグッド 8年間の軌跡

東日本大震災からもうすぐ8年——。  
シナップでは被災地の復興支援をいまでも微力ながら続けています。  
今回の『SINAP Journal』ではこれまでの8年間の活動を振り返るとともに、シナップが活動を行っている岩手県陸前高田市を訪れ、この地域のいまをレポートしたいと思います。(取材は2018年12月時点のものです。)

# 2018

2018年12月17日 撮影 (岩手県陸前高田市)  
住宅地のかさ上げ工事、整備がいまもなお続いている



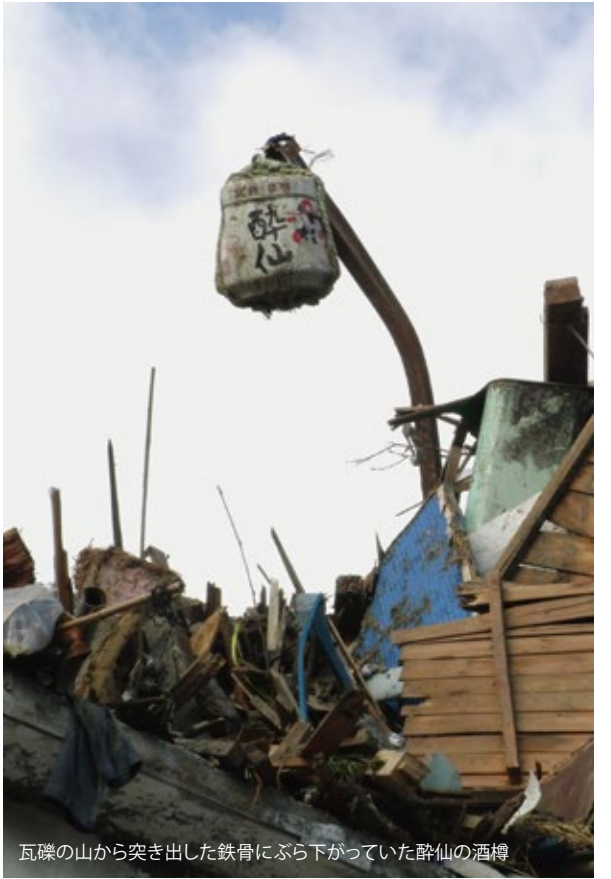
1. 新工場として設立された大船渡蔵。 2. 一本松とRise Up, KESENのメッセージを背に新たな大船渡蔵で行われた仕込み。 3. 震災後初めて行われた雪っこ出荷式。 4. 特別なお酒である大吟醸酒に一際、想いを込めて発売された「酔仙×松徳硝子復興応援感謝セット」。



## シナップソーシャルグッドの軌跡と東北のいま——

2011年3月11日、東北地方を中心に、私たちを未曾有の大地震が襲いました——。

「シナップとして被災地になにかできないだろうか」と、誰ともなく上がった声にみんなが反応し、シナップの復興支援活動が始まりました。どのような支援を行うか、長い時間をかけてスタッフ全員で話し合いました。そして私たちが決めたのは「過性の支援ではなく、顔の見える関係で長く続けること。数年にも及ぶといわれる被災地の生活や経済の復興に自分ごととして関わ



瓦礫の山から突き出した鉄骨にぶら下がっていた酔仙の酒樽

り、長期的な視点で活動していこうというものでした。

### 酔仙酒造との出会い

様々な可能性を模索するなか、スタッフの親戚の方とつながりのあった岩手県陸前高田市にある老舗酒造メーカー酔仙酒造と連絡を取ることができました。酔仙は震災に際して工場、倉庫、150本ものタンクを含む全ての建物が津波によって流され、7名の方が亡くなられるという大変な被害をうけていました。震災からおよそ3ヶ月後の6月、実際に現地を訪れた私たちが見た光景も言葉



津波直後の陸前高田市の様子

酔仙の当時社長である金野靖彦さんと初めてお会いしたのは、酔仙が復興へ向けてまさに動き始めている時でした。靖彦さんの「このままでは終われない」という言葉に、被災地の光景にショックを受けていた私たちが逆に励まされたことをいまでも覚えていきます。

### 新サイトの公開と初出荷

2011年7月、酔仙は同業である岩手

こうしてシナップでは隔週でスタッフが現地を訪れ、実際に酔仙のみなさまと顔を合わせてお話ししながら、私たちの本業であるWeb・ITを活用したコミュニケーション作りの支援を開始しました。

い」と困難に立ち向かう職人たちの姿がありました。

9月、震災から半年が経とうとするところ、シナップがお手伝いして制作した酔仙の新しいWebサイトが公開されました。これまで何度も打ち合わせをさせていただきました。これまでも感慨深いものとなりました。そしてようやく、酔仙はサイトを通して多くの人に情報発信ができるようになったのです。

公開後、Twitter上ではたくさんさんの酔仙酒造のファンの方から暖かい応援メッセージが届けられました。そして10月、酔仙から新酒「雪っこ」が出荷されました。震災から7ヶ月、文字通り全てを失った酔仙にとって、この出荷は復興への大きな一歩でした。

### 新工場の設立。そして震災後初の「大吟醸」の販売

その後も酔仙はひたむきに努力を重ね、復興の道を歩きました。2013年8月には大船渡に新たな工場を設立、新工場での仕込みを開始しました。国の復興事業補助金が決まり、異例の早さでの新工場建設でした。

シナップではWebサイトやSNSの運用はもちろんです。2013年には復興後初の「大吟醸酒」の発売に合わせ、極薄のガラス製グラス「うすはり」で人気の松徳硝子とのコラボレーション「酔仙×松徳硝子復興応援感謝セット」の商品企画にも携わりました。数量限定のこの商品は様々

銘醸株式会社との協力で、一関にある玉の春・千蔵営業所の製造設備を借り、新酒づくりを始める準備に入っていました。工場を失ってから半年を経たに再びお酒造りが開始できることに誰もが驚き、期待をもって見守っていました。しかし、全てが順調というわけではありませんでした。



震災後、酔仙の新酒づくりを支えた玉の春・千蔵営業所

なメディアにもとりあげられ、大変な注目を集めました。

### 常に感謝の心を忘れず、前進を続ける酔仙酒造

こうして酔仙は復興の道をひたむきに歩み続けます。シナップではWebサイト制作などを無償でお手伝いすることが地元と同業企業の売り上げを奪うことにならないよう、徐々に運用面を地元の制作会社に引き継ぎ、現在は「コミュニケーションブランニング」の面で微力ではありますが、引き続きお手伝いを行なっています。

傍らで応援していただけるのは、この道程が決して簡単なものではなかったということです。そして、いまもお様々な課題に挑戦し続けています。

そんな努力が結実し、17年、18年と全国新酒鑑評会において、2年連続で純米大吟醸酒が金賞受賞となりました。また、17年10月には日本ゼットックと共同開発した「雪っこ」を贅沢に使用した美容液「雪っこオールインワンジェル」を発売。こちらも非常に人気の高い商品になっています。

「常に感謝の心を忘れてはいけないな」と思っています。多くの支援があっただけでやってこれました」と語るのは醸造課主任 金野泰明さん。時に地元の復興の象徴として華々しく取り上げられることもある酔仙ですが、毎年毎年少しでも美味しいお酒をつくり、品質を高めるため、いまもひたむきな努力を続けています。

## シナップと未来商店街

「これから立ち上がる商店街の支援をしてほしい」という一本の連絡をきっかけに、2011年12月、陸前高田未来商店街の支援が始まりました。

未来商店街は、震災で店舗を失った店主が再スタートを誓って集まった商店街です。当時は建物の代わりにコンテナを利用し、地元に戻った若者、ボランティアスタッフの協力を得ながら営業開始を目指していました。一方、その存在、活動をどのように知ってもらうかは未来商店街にとって大きな課題となっていました。

シナップではより多くの方に未来商店街を知ってもらえるよう、Webサイトの制



コンテナを利用した店舗でスタートした未来商店街

作、SNSの活用などで支援を行いました。そして、2012年5月「商店街の運営者が自ら情報を発信できる場」として、未来商店街のWebサイトは公開されました。

## クリスマスイルミネーション

2012年12月、シナップでは私たちが毎年行なっていた「SINAP Christmas Project」の二環として、商店街にクリスマスイルミネーションを設置しました。「暗い被災地の夜に、暖かい明かりを灯したい。」そんな思いが商店街の皆さんに届き、とても暖かい感謝の言葉をいただいたことをいまでも覚えています。



2012年に実施したクリスマスイルミネーション

未来商店街はその翌年には2階建ての



施設内には図書館も併設され、憩いの場となっているアバッセかた

プレハブ店舗を建築、出展店舗数も増え、週末には朝市が行われるなど、地元の魅力あるスポットとなりました。そして2018年9月30日、仮設商店街の期限を迎え解散。多くの店舗は隣接するアバッセかたを中心とした新商業エリアに移転し、新店舗となって再出発を果たしています。

## 陸前高田のいま

震災からおよそ8年、何度も訪れた陸前高田、大船渡、気仙沼は来るたびに景色が変わっていきました。瓦礫の山が均され、道が整い、住宅が建ち、お店が開店してきました。

陸前高田では、2017年4月、前述の

ついでにそのついでです。また、復興庁が2021年3月で期限を迎えます。「様々な支援が及ばなくなれば、たとえいま街の建物が新しくなっても、経済的に持続可能にはならないでしょう。震災から8年、ようやくマイナスからゼロに向かってきたところ。支援が打ち切られるこの先が本当の正念場かもしれない。お話をうかがったみなさんが、これからの覚悟を口にされていたのが印象的でした。

## 取材を終えて

メディアでの報道が少なくなった東日本大震災。

被災地は一步一步復興に向けた歩みを確かに続けています。一見すると、新しい施

設が建ち並び、街はだいぶ機能を取り戻したかのように見えます。

しかし、震災の記憶が徐々に風化し、風景として私たちに見えにくくなっていく中で、いまなお再生、そして自立へ向けて多くの課題と向き合っているというのが、いまの被災地の本當の姿だと感じました。

8年間――。

顔の見える関係だから長く続けられたこと、長く続けたからこそ見えてきたこうした課題。私たちにできることは限られています。シナップではこれからも応援を続けていきたいと思います。



続くかさ上げ地の整備

活気ある気仙沼市魚市場



広田湾に隣接して建設される予定の追悼広場と道の駅

## おいでよ南三陸!

### 取材で見つけた地元の味覚大集合

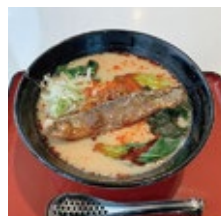
南三陸といえばやっぱり気になるのが地元の味覚。みなさんはどんな食べ物を思い浮かべますか? 美味しいお魚に美味しいお酒!? 郷土料理にB級グルメ!?

そこで今回、取材で見つけた魅力的な味覚をご紹介します。気になった方はぜひ南三陸を訪れてください!



### 新鮮な海の幸

南三陸といえばやはり海の幸! 気仙沼や大船渡などの市場周辺では活きの良い獲れたての魚介類がさまざまな場所で楽しめます。ぜひ一度味わってみてください。



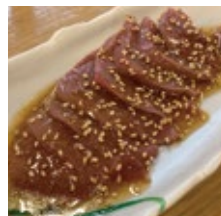
### サンマ担々麺

日本有数のサンマ水揚げ量を誇る大船渡市場が放つB級! グルメ。スープは濃厚で麺は細麺。カリッとあげられたサンマとの絶妙なハーモニーがくせになりそう。(大船渡市場レストラン「海」)



### りんごバーガー

ハンバーガーにりんご!? と驚くかもしれませんが、これがものすごく合うんです。陸前高田米崎りんごと厚切りベーコンにハニーマスタードを合わせたご当地バーガーは美味!(農家カフェ「フライパン」)



### もうかの星

もうかの星とはモウカザメの心臓のこと。モウカザメの水揚げ量が多い気仙沼の珍味として有名です。その味わいはまるでレバ刺し。ごま油にお塩やわさび醤油などでどうぞ。



### 雪っこ

最後は私たちが復興支援でお手伝いしている酔仙さんの冬の定番、雪っこ。とろりとした口当たりが特徴の白い活性原酒は上品な甘み。オンラインでも購入できるのでぜひ!



INTERVIEW  
 酔仙酒造 醸造課主任  
**金野泰明さん**

シナップとの出会いはいまのようなものでしたか？

**金野** 一関市内のホテルのロビーで、打ち合わせを行うためにお会いしたのを覚えています。当時は震災直後で毎日が非日常の連続。混乱していました。そんな折、東京のWeb制作会社の方々がいらしたので、正直に打ち明けると、すぐ戸惑っていたんです。突然「お手伝いさせてください」とご連絡をいただいたので、はじめはびっくりしてしまいました。実際に打ち合わせをしてみると、みなさん、MacやiPadを駆使してメモを取るじゃないですか。自分が生きる世界とはまったく異なる世界を生きている方々なのだ感じて、衝撃を受けました(笑)

この8年間での印象的な思い出や出来事はありますか？

**金野** 思い出に残っているのは、震災後、初めて洗米ができたことですね。SNSで洗米の報告を行ったときの嬉しさを今でも覚えています。トラブルなく洗米できるとなるまで、長い道のりでした。あとは、Webサイトが公開された瞬間でしょうか。これまで、非日常な日々が過ぎ去る中で、サイトを公開したことで酔仙としての日常が戻ってくる感覚を覚えしました。すごくホッとしたエピソードのひとつでした。サイト制作に関しては、僕たちは本当に素人。ぼんやりとしていたことをテンプホよく組み立ててもらえたので、すごく助かりました。さらに、より多くの人にサイトを見てもらったための工夫を忘れない姿勢からは感銘を受けました。

また、僕個人としては、杜氏の免許を取得したことも印象的です。納得した仕事ができずに悩むこともありましたが、全国技術鑑評会金賞を受賞できたため、大きなやりがいにつながっていきましました。杜氏になってからは、先代の思いを受け継いで、従来の方法には止まらない酒造りを行ってきています。お酒は、工程の小さな変化で味が変わってしまうもの。小さな改善を重ねて味が変化した今の酔仙のお酒は、お客様にも愛していただいています。様々な出来事があったので、どれもすごく大切な思い出ですね。

震災からまもなく8年が経とうとしています。これからの展望について、お聞かせください。

した。半信半疑ではあったものの、ご連絡を差し上げたらずいかに会いに来てくださったんです。その後、未来商店街の現状を届けるためのWeb制作のお手伝いを行なっていたことになりました。インターネットの時代なので、しっかりと情報発信を行いたいと考えていたんです。実際、シナップのみなさんは、私たちの思いを受け止めて、すごく質の高いWebサイトを制作してくださいました。

この8年間での印象的な思い出や出来事はありますか？

**種坂** シナップのみなさんとの思い出としては、クリスマスの時期に行っていたいた商店街のイルミネーションです。本来であればWeb制作会社のはずなのに、シナップの方々はその領域に捉われない提案をしてくださって。こちらからお願いをしたことだけでなく、どんどん新しいことを提案して進めてくださる姿がすごく嬉しかったです。

個人としては、本当に濃厚な8年間だったので、どのエピソードも感慨深いです。ただ、ひとつ挙げるとしたら、最近未来商店街のみなさんがわたしを招待してくださった、商店街の解散式でしょうか。わたしは、震災のあった2011年11月からこちらに移住しました。悲惨な状況が続く中で、なんとか町の方々の役に立てるようになると、あらゆる手を尽くしてきたつもりです。ただ、当時の状況では、なかなかみなさんの望みを叶えるだけの力量も余裕もなく……。1年後、支援の継続がなくなり、卒業せざるを得なかったときは、本当に悔しさを感じました。そ

金野 まず、酔仙としてこれから目指したい未来の姿があります。それは、これまでできていなかった課題を見つけて、しっかりと改善を重ねていくこと。具体的には、貯蔵や出荷管理などがそれに当たるかなと思います。震災からだいぶ時間が経ってしまいましたが、やっと、僕たちが立てるようになってきました。今がスタートラインのような気持ちです。だからこそ、これからは「酔仙」といったらこの味」や「ぱりおいしいね」とお客様から言っていただけのように、質の高いお酒を造り続けたいです。

お酒は流通後も味が変わってしまいません。でもお客様の口に入った瞬間おいしくなければいけない。だから、僕もときどき、お客様と同じように販売店に足を運んで、自社のお酒を実際に購入して味の変化を確かめているのですが、今後はこうした流通にも気を配りたいと考えています。

震災は、決して起こるべきものではありません。ただ、だからこそ出会えた人がいて、つながった縁があります。今は関わってくれた方々みんなに感謝の気持ちを込めてお酒を届けていきたいです。

**金野泰明**  
 酔仙酒造 醸造課主任

岩手県出身。造り酒屋の家系で育ち、大学で醸造科学を専攻。卒業後、埼玉県の酒造会社で経験を積んだ後、2007年、酔仙酒造に入社。震災後、酔仙酒造の復興に尽力。2017年、杜氏に就任。2017年（平成28酒造年度）、2018年（平成29酒造年度）と全国技術鑑評会金賞を受賞。現在もさらなる品質の向上に取り組んでいる。

れなのに、今回、解散式にみなさんがわたしを招待してくださいました。「あんなに大変な状況の中で本当にありがと」と、言葉をかけてくださったんです。長い時間はかかりましたが、自分の活動が実を結んだことを知って、感極まってしまいました。

震災からまもなく8年が経とうとしています。これからの展望について、お聞かせください。

**種坂** 震災当時、未来商店街には「またお店を再建して頑張ろう」と、みんなに掲げた目標がありました。いまやっと復興し始めて、活気を取り戻しつつあります。ただ、今はまだゼロに戻った状態。これからはプラスを作るため、新しいチャレンジを必要とします。

そのために、今後はまちづくり会社を設立して、行政だけに頼らない取り組みも行っていく予定です。まだまだこれから先のことばかりですが、町のみなさんとコミュニケーションを取りながら、子どもたちを含めたみんなが安心して暮らせる街を作っていきたいと思っています。

**種坂奈保子**

NPO法人陸前高田まちづくり協働センター

愛知県出身。震災に際し、NPO法人ETICが行っていた被災地で活動する地元リーダーにサポートスタッフを派遣する「右腕プロジェクト」に参加。「陸前高田未来商店街」立ち上げプロジェクトに従事する。現在はNPO法人陸前高田まちづくり協働センターで交流施設「ほんまるの家」の運営など復興支援員として活躍している。

シナップソーシャルグッドでお手伝い

**大槌復興 刺し子プロジェクト**

シナップでは今回ご紹介した酔仙酒造、陸前高田未来商店街の他にも、岩手県大槌町の女性たちが社会へと繋がる場所作りを目指して取り組む「大槌復興 刺し子プロジェクト」の支援を行なっています。こちらぜひチェックしてみてください！

大槌復興 刺し子プロジェクト：<https://sashiko.jp/>



現在、酔仙酒造のサイトを担当する  
**アローリンクス株式会社**

現在、酔仙酒造のサイトを担当しているのが、酔仙酒造の新工場がある岩手県大船渡に本社を構えるアローリンクスさんです。アローリンクスさんは「情報を通じて起業を増やし、地域を面白くする」を理念に掲げ、地元企業をはじめ様々なシステム開発やWeb制作を行っている会社です。

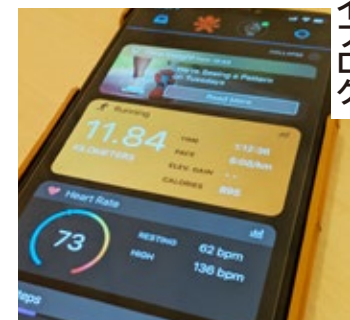
アローリンクス株式会社：<https://www.arrow-links.com/>



# STAYEVEN MORE TO BE CHOICE

To be continued...

ライフログ



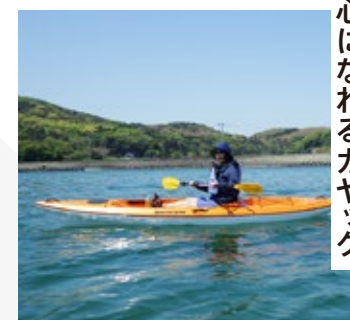
記録するのが好きなので、日々の歩数、体重、心拍数はもちろん、行った場所、食べたもの、読んだ本・漫画、音楽、映画、登った山などいろんなアプリでログを取り、最終的にはevernoteとgoogleスプレッドシートに貯めています。

代表取締役  
プロデューサー  
坂西 裕彰



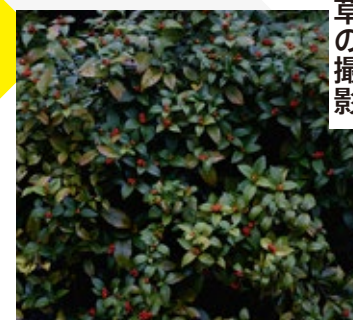
Web黎明期から一貫して顧客企業のビジネスに深く寄り添う提案を行い、指揮してきた数多くのプロジェクトはクライアントから高い評価を得ている。WebSig24/7モデレーター。長い黒髪が印印。

無心になれるカヤック



沖繩でカヤックフィッシングを体験して、4月から福岡でカヤックをはじめました！ ころうじてまだ続いています。教えてくださる先輩に囲まれて、海と風と、たまに陸でお酒を楽しんでいます！ 海は最高です！

雑草の撮影



会社の行き帰りに、昼休みに道端で植物を撮るというのを半年ぐらやっていました。毎日少しずつ状態が変わるので、撮りたい時に撮らないと2度と撮れなくなったりします。カメラを忘れると不安になります。

デザイナー  
小茅 奈美



テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てシナップ設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザインと、絶えない笑顔で創業からシナップを支える。

愛用直火ポットで  
毎朝エスプレッソコーヒー



直火ポットは電気もいらないけれど、清掃などの面倒も少なく、これにしてから毎朝自然と淹れられるようになりました。もうずっと愛用してすっかり年季が入っています。カフェイン注入でめざめスッキリ。

取締役  
クリエイティブディレクター  
大川 貴裕



多くのWebサイトをはじめ、企業のブランドデザイン、CI/VI開発、グラフィックデザインなど幅広い分野で活躍している。国際的なデザインコンペティションほか受賞多数。生粋のハマっ子。

ディレクター  
鈴木 善明



イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。

アニマルハント



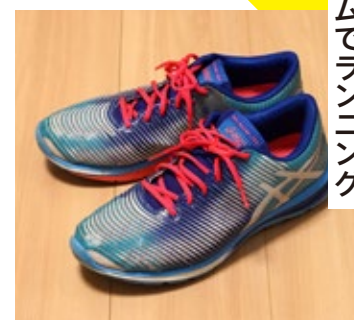
動物の形をしたものが好きです。置物、絵、お皿、人形、なんでもありです。意識的に探してるわけではないのですが、見つけちゃうと買わずにはられません。推しメンはニワトリです。二推しは魚です。どちらも食べるのも好きです。

エンジニア/ディレクター  
野原 由貴



広範囲なスキルを持ち、制作ディレクション、デザインも実装もこなす頼れる存在。のんびりした印象のなかにかっこいい実務能力を秘める。カレーとロックフェスが好き。半分東北人。

ジムでランニング



近所に新しくオープンしたのをきっかけに、スポーツジムに初めて入会しました。外の気温に左右されずに、動画見ながら室内で効率良くランニングできる気持ち良さからよってハマりますが、いつまで続くだろうか...

デザイナー  
飯山 嘉之



大学でマスコミュニケーションを専攻し、音楽関連企業で経営企画・宣伝販促・営業を経てシナップに入社。グラフィックを中心にUIデザインやCMS実装を担当。デジタルインスタレーション、草野球やボルダリング、縦ノリ音楽を好むデザイナー。2019年は写真の上達を目標んでいる。

同じ物を  
複数買ってしまっ



あまり服に興味が無いので、気に入った服が見つかると同じものを複数買ってしまいます。同じ色で5枚とか、カラバリがあるなら好きな色を全色揃えてみたり。服だけじゃなく、靴や充電ケーブルなんかも同じものを複数個買いがちです。

ディレクター  
三國 翼



制作会社数社を経てシナップに入社。デジタルマーケティングを中心とした戦略、企画、設計、改善など担当。最近ではキャンプが興味の中心です。好きな調理器具はラージメスティン。

愛猫のごはん当番



昨年2匹の猫が我が家に仲間入りしました。さび猫とキジトラの女の子で、とっても大切な家族です！体重管理のためしっかり計量してあげていますが、可愛くおやつをねだられるとつい甘やかしてしまうのでした。

デザイナー  
久保田 さや佳



グラフィック・木工・建築・Webデザインと広く学び、広告代理店を経てシナップへ。デザイナーとして使いやすいや思いやりのあるデザインを心がけている。デジタルだけでなく、手しごとが好き。

ホットサンドを  
作って食べる



実家に戻っての生活になり自分で料理をすることがめっきり減ったため、専用プレートがあれば手軽に作れてキリギリ手料理だと言いつ張れるはずのホットサンドを毎朝食べてます。

フロントエンドエンジニア  
村山 貴裕



地元の制作会社を退職後シナップに入社、伴って上京しての新潟人。現場叩き上げのスキルでマークアップやCMSでの実装を行うエンジニア。休日は自宅でマンガゲームの量産型草食系。辛い食べ物には苦手。

LINEで交換？日記



夜寝る前、LINEのノートに今日あった、たわいない事を投稿するのが日課です。愛する彼と交際中一緒に始めてから夫婦となった現在でも継続中。会えない時間を埋めるコミュニケーションツールとして、夫婦円満に一役買っています♡

総務/秘書/広報  
小泉 憂佳



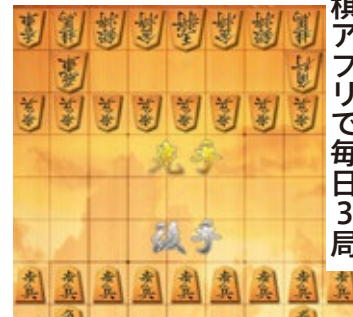
印刷会社での営業事務を経験後、Adminスタッフとしてシナップに入社。よく笑い、よく食べ、よく寝るをモットーに日々邁進中。将来の夢はなんでも鑑定団に出ること。日本酒は純米が好き。

### 就寝前のストレッチ



昔は開脚してべたっと上体がつくくらい体が柔らかかったのですが、運動をやめたと同時に硬くなりました。以前のよう柔軟性を取り戻すべく、週1のヨガと就寝前のストレッチを続けています。道のりは、まだ遠い…。

### 将棋アプリで毎日3局



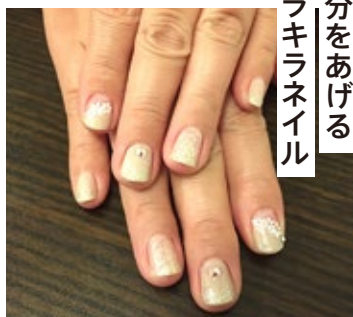
2018年に将棋にハマり、「将棋ウォーズ」というアプリでほぼ毎日3局ずつ指しています。今では、全く歯が立たなかった父をコテンパンにできるくらいになりました。2019年は初段目指して頑張ります。

### 毎朝の緑茶



意識して続けているという訳ではないですが、物心ついた時からずっと朝に緑茶を飲んでいます。もちろん海外旅行にも連れて行きます。お正月には「おみくじ付き」のお茶を買ってみました。さて何吉が出たでしょう。

### 気分をあげるキラキラネイル



マニキュアで毎回自分の好きなネイルをしていましたが、最近スキルアップでジェルネイルも始めました！今はデザインのバリエーションを増やせるよう道具を集めたり、友人の爪もできるように地道に練習しています。

### 道案内(の失敗)



よく、道を訊かれます。とくに、お年寄りや外国の旅行者から。それで、まったくの受け身ながら日々道案内を続けてきました。ただし、破滅的な方向音痴なのです。地図まで見ながら90度ちがう道を教えてしまっ、あとで気づいて追いかけてたり。たいへんです。

### 実は、アルゼンチン・タンゴやっています



踊りではなく、小さなオーケストラのような編成でタンゴ音楽の演奏を学生時代から続けています。アルゼンチンピアノは、左手でベースとリズムを刻みながら、右手でメロディーを奏でたり、なかなかと忙しいパート。

### コワーキングスペースのお店番



以前の職場でお世話になったコワーキングスペースのお店番を月1回程度のペースで続けています。普段はしない接客が出来たりそこでの人との繋がりはプライスレスです。写真はそこで梅干しを作った時のものです。

### 大谷翔平選手の目標達成シート

項目	目標	達成状況	備考
1. 1試合1イニング	100回	100回	達成
2. 1試合1イニング	100回	100回	達成
3. 1試合1イニング	100回	100回	達成
4. 1試合1イニング	100回	100回	達成
5. 1試合1イニング	100回	100回	達成
6. 1試合1イニング	100回	100回	達成
7. 1試合1イニング	100回	100回	達成
8. 1試合1イニング	100回	100回	達成
9. 1試合1イニング	100回	100回	達成
10. 1試合1イニング	100回	100回	達成

メジャーリーガーの大谷翔平選手がつかっていた目標達成シートに感銘を受け、私も同じシートを使って目標を立てています。一覧性と、決められた数洗い出すところが優れています。目指せ、メジャーリーガー。

### クラフトビール飲み歩き



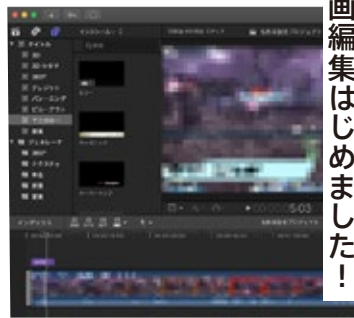
それぞれがとても個性的な味のクラフトビール。飲んだときの印象の違いが飲み歩き楽しみになっていて、一時期は飲んだ銘柄をすべてメモしていました。ちなみに、地元静岡では「ベアードビール」が有名です。

### 釣り



子供の頃にやってた釣りを、大人になってからもう一度、と軽い気持ちで始めたら、どっぷりハマってしまいました。奥様も巻き込んで暇があれば釣りに行きます。今年は五島列島に行きたい！あー…。書いてたら釣り行きたくなくなってきた(笑)

### 動画編集はじめました！



以前から「操作手順を動画で説明出来れば伝わりやすいのに！」と思いながらも動画スキルがなくて諦めていました。しかし、息子から「ゲーム動画をアップロードしてみたい」と言われ、えいや！とチャレンジして以来、すっかり動画編集に凝ってしまいました…(笑)

### 近所の散歩



自宅作業で籠りがちになってしまうフリーランス。以前は毎朝、娘を保育園に送った後に30ほど歩いて帰ってきたのですが、最近は機会が少なくなったので、年末から近所の散歩を始めました。横浜市とは思えない風景を見ながらリフレッシュしています。

### フロントエンドエンジニア 小川 大樹



アパレル販売員を経験後、もの作りがしたいという思いからWeb業界へ転職。独学でフロントエンドの技術を学ぶ。無垢材や綿100%のシャツなどナチュラルな雰囲気のものが好き。

### ディレクター 鈴木 大志



岡山生まれ、埼玉育ち。コンサルティング会社でWebディレクターとシステムエンジニアを兼業していました。シナップではディレクターとしてWeb制作に携わっています。散歩が好きで、歩いて山手線一周しました。

### エンジニア テクニカルディレクター 渡邊 昇



プログラマーやシステムエンジニアとしていくつかの会社を経て、エンジニアとしてシナップに入社。月数回のライブ、年数回のフェスに行くほどの、音楽好き。箱根の山奥で生まれ育ち、今も在住。

### パートナー 柿内 暢昌



シナップで7年間Web制作に従事した後、2014年からフリーのフロントエンドエンジニア及びテクニカルディレクターとして活動中。Webアプリのフロントエンド作成、インタラクション、アニメーションの作成を得意としている。屋号はスタジオオカッキー (studio-kakky.com)。3度の飯も釣りも好き。

### パートナー 円佛 公太郎



インフラ系 Sier 勤務。主に金融・メディア・ISP・クラウド基盤のプロジェクト管理や設計/構築等を手がける。毎日、Misfit Ray で「今日の睡眠時間」と「歩数」を確認するのが趣味。休日の歩数が500歩以下を経験したことのある、生粋のインドア派。

### パートナー 彦根 大和



デザイナー/アートディレクター。Webコンサル企業で数多くのメジャー企業を担当したのち、2015年に長女の誕生を機に独立。以後はWebサイトのほか、ECやスマホアプリ、センシングデバイスなどの開発に携わる。旅好きで、家族で海外旅行に行ける日を待ち望んでいる。直近の目標はスペイン語習得・沖繩三線の練習など。

### アシスタントデザイナー 沓掛 真佑美



東京の下町生まれ下町育ち。健診施設や飲食店などに主に接客業を経験。デザイナーに憧れ、専門学校に通った後にアシスタントとしてシナップへ入社。

### エンジニア 山下 千尋



アパレル販売員、事務員を経てエンジニアに転身。これまでwebアプリのみならずPepperアプリやデジタルサイネージなど幅広い開発を経験。web制作の高みを目指しシナップへ入社。好きな武将は徳川家康。

### ディレクター 北川 雄太



小中高大と大阪で過ごした関西人。ITコンサルタントとして金融系のシステム開発を経験後、UXに注力したいという思いからシナップへ入社。猫派。朝シャン派。好きな言葉は「コスバ」。

### ディレクター 村田 歩美



Sierにて業務アプリケーションのプロジェクト管理・開発全般を経験。ユーザ視点でのサービス作りに関わりたいたいという思いからシナップへ入社。大阪生まれ東京育ち。猫と果物が好き。

### パートナー 松島 智



コミュニケーションとデザインの研究で大学院修了後、シナップ在籍11年を経て独立。以降もパートナーとして深く関わる。String & Letters (紐と手紙/文字列と文字)の屋号のとおりに「読む」ためのデザインで評価が高く、開発したオープンソースEPUBビューワ「BiB/i」は世界中で利用されている。別府移住を目論む温泉好き。

### パートナー 富川 路子



美術史を学んだ後、きもの業界での販売や企画営業、三重県庁での勤務など幅広く経験。デザイン系専門学校を経てシナップに3年半在籍し、独立。フリーのディレクター・UI/UXデザイナーとして活動しつつ、パートナーとして継続して従事。専門学校や企業研修での講師のほか、きもの活動も並行して行う。屋号はcocon (ここん)。

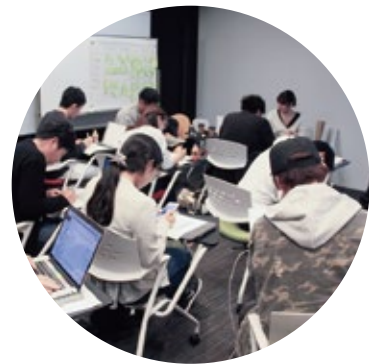
# SINAP TOPICS



スピーディなUI検証に

## ライブプロトタイプング

5回の会議より、1つのプロトタイプ。シナップの「ライブプロトタイプング」が好評です。会議の場で様々なアイデアをプロトタイプツールを使いその場で試すことにより、UIの迅速な検証を可能にします。



UX Design

## デジタルハリウッドにて好評のUXデザイン講義

デジタルハリウッド東京校「UI/UXD 専攻」コースにてシナップクリエイティブディレクター大川のUXデザインに関する講義が一年に引き続き行われました。グループワークやハンズオンを交えて、実践的にサービスの創造プロセスを生徒さんに学習、体験してもらいました。



様々なタイアップ企画も実施

## 『ツイ4』フォロワーついに25万人を突破!

私たちのクライアントのひとつ星海社が手がける人気4コママンガ配信サービス『ツイ4』のフォロワーが25万人を突破! 「次にくるマンガ大賞 2018」Webマンガ部門、『ぶっカフェ!』4位、『ふしぎねこのきゅーちゃん』9位受賞と新連載も好調です!

さらに広告配信では、通常のバナー広告に加え、昨年スクウェア・エニックスが手がける人気アクションRPG「プロジェクト東京ドールズ」のタイアップをはじめ、少年マガジンRにて人気連載中の『白聖女と黒牧師』の出張連載がスタートするなど、さまざまなタイアップ企画が実施されています。

サイト掲載のバナー広告はもちろん、『ツイ4』のTwitterフォロワーに直接訴求できる「タイアップ4コマ」など魅力的なメニューをご用意していますので、広告配信にご興味のある方がいらっしゃいましたらぜひシナップまでご連絡ください。



UX Design × Growth

## UXデザインの手法活用で効果を発揮するシナップのグロース運用

A/Bテスト、スプリットテストなど、近年注目されるサービス改善手法ですが、ツールの利用だけでは効果があがりません。シナップではUXデザインを活用し、ユーザーのインサイトをもとにした仮説の立案、さらにその検証と最適化のサイクルを継続的に行うことによる独自のフローで高い成果をあげています。サービスの改善、グロースに課題をお持ちの方はお気軽にご相談ください。



クライアントとの長期的な取り組み

## 雑誌『Web Designing』に取材記事掲載

『Web Designing 2019年2月号』(マイナビブックス)誌上にて、クライアントとの長期的な取り組みに関して取材いただいた記事が掲載されました。ぜひご覧ください。



晩酌で日本酒

365日毎晩日本酒で一杯。徳島の旭若松がここ10年の常備酒で、去年は蔵まで行ってきました。ほかに由比の英君、喜多方の奈良萬、大原の木戸泉、南魚沼の鶴齢などの生原酒を美味しくいただいています。



一眼レフカメラ

2015年に本格的な一眼レフカメラを買ってから、野生動物や風景の撮影にどっぷりはまっています。パソコンの前にいるだけの生活から一変して、定期的に散策するようになり肩こりが楽になりました!



ゆるいパレオダイエット

去年から食生活の改善を始めて、間食をしない、砂糖を摂らないとか徐々に制限を増やし、ゆるいパレオ食に落ち着きました。今のところ体重-10%、体脂肪率-20%をキープ。油変えたら体脂肪率が劇落ち。



パートナー  
石田 智之

1990年代からDTPやWebに関わり、現在はトリムマークの社長としてタイポグラフィや設計などの裏方仕事と撮影を担当。日本酒、珈琲、お茶など飲み物担当、食べ物はかつおぶしとしますが、多忙で山歩き時間が取れないのをなんとかしたい。



パートナー  
森 智佳子

フリーランスのウェブディレクター兼マークアップエンジニア。コーディング専門会社にて多数のサイト制作に携わり、実務の経験を積み、独立。札幌市在住。ニックネームはモリコ。好きなことは、写真・効率化・ビール。



パートナー  
鈴木 裕司

デザイン・ディレクター。課題設定からアウトプット制作まで領域をまたいだ活動をしている。2003年にデザイナー/エンジニアとして独立。以降、ウェブを中心に様々なプロジェクトに携わる。趣味は寂れたところの散歩とカメラ。Leicaファン。

私が続けたい  
STAFF VOICE  
To be continued...



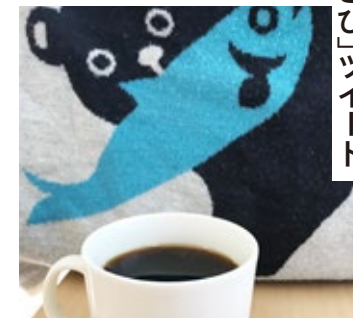
クラシック・ロックが心の友だ

小学生でビートルズとローリング・ストーンズにめざめて以来の洋楽ファン。いつの時代も、マイナーな道を行ってきたもので、雑誌といえば「ロッキング・オン」派(笑)です。写真は元ヴェルヴェット・アンダーグラウンドのジョン・ケール来日時のポスター!



パートナー  
西口 みな子

大阪で3年、東京の広告制作会社でコピーライターとして12年勤務。金融・流通・住宅・生保・出版などの広告と企画・販促を経験し、フリーランスに。一番メジャーな仕事は映画トラスもん(2006~2013)のキャッチコピー。



「こひ」ツイート

毎日コーヒーを淹れる時に「こひ」とツイートするようにしています。最近はほとんどのツイートが「こひ」になり、アカウント名もいつの間にか「こひbot」に。先日友人が自分の子を「こひたろう」と呼んでいるのを目にし、「こひ」の広がりを感じています。



パートナー  
川久保 亮

大学院で物理の研究後、プログラマーに。トリムマーク株式会社でweb技術を用いたページレイアウトエンジンの開発を行っている。ロードバイクを持っているが、少し暑くなったり寒くなったりすると乗らなくなってしまう(ハタレ自転車乗り)。



# SINAPSERVICE

私たちにご相談ください



## 新規事業 サービス立ち上げ

シナップでは、私たちの持つサービス開発の経験、ITに関する知識を活かし、クライアントと話し合いながら、リーンキャンバスやコンセプトダイアグラム、UXデザイン手法などを用いて、ビジネスプランを具体化するお手伝いをします。またモックアップ、プロトタイピングを行い、迅速に仮説検証を行うアプローチなど、これまでのワークフローに縛られない、クライアントとの新しい組み方、新しい価値の創出に取り組んでいます。



## UXデザイン プランニング

シナップが進めるプロジェクトではUXデザインのプロセスをベースに、ユーザーのことをよく知り、サービス全体の中でその体験がどうあるべきかを、ユーザーの視点、ビジネスの視点それぞれで考え、課題の抽出、要件定義、解決策の提示を行い、精度の高いアウトプットをめざしています。シナップではサービスの新規立ち上げからリニューアルまで、企画・プランニングから携わり、プロジェクトローンチまでをトータルでサポートします。



## Webサイト/アプリ 制作・開発・運用

デザイン能力、開発能力、品質管理能力、プロジェクト管理能力の高さもシナップの強みです。私たちは自分達の考えたプランを実現する高い制作・開発能力と、遅滞なくプロジェクトを進行し適切な品質を担保する能力を有しています。社内には様々なプロジェクトを通して蓄積された経験やR&Dなど先進的な技術に関する取り組みも結果も、積極的にクライアントワークに還元しています。



## グロース運用と 継続的な成長

シナップではリニューアル後のUI/UX改善、DMP+MA ツールの活用、A/Bテスト、オウンドメディアの運用などさまざまなマーケティング支援を通して、サービスの継続的な成長をお手伝いしています。社内にはビジネスを成長させ続けていくために、テーマに沿って知見を深めていく研修、社内勉強会などがあり、そのナレッジはクライアントへの提案に活かされています。

## 奇跡の一本松 (2018年12月撮影)

岩手県陸前高田市気仙町の高田松原跡地に立つ松の木のモニュメント。東日本大震災による地震と津波をうけ、約7万本と言われる高田松原のほとんどが流されるなか、唯一流されずに立っていたことから、「奇跡の一本松」と呼ばれ、復興のシンボルとして保存されている。写真は昨年2018年12月に撮影。奥には震災後に建設された海岸防潮堤が見える。このエリアは「高田松原津波復興祈念公園」として新設する道の駅(2019年夏オープン予定)を中心に再整備の工事が進められている。

<https://sinap.jp/>

 <https://www.facebook.com/sinapinc>

 @sinapinc

 [info@sinap.jp](mailto:info@sinap.jp)